

平成31年度 学校経営方針

学校教育目標 志を立て、その実現のために努力する人間の育成

目指す生徒像

- (1) 正しいことに自信を持ち、自分に厳しく、人に優しく、人権意識を常に働かせることができる生徒
- (2) 正確な発信・受信による意思疎通ができ、いろんな視点からの他者の意見を採り入れて自分を変容させることができる生徒
- (3) 情報を分析・解釈してまとめ、確かに豊かな知識を獲得できる生徒
- (4) 初めてのこと・未知のことにも思考・対話・協働をもって挑める生徒
- (5) 立てた目標に向かって自分をコントロールしながらねばり強く、見通しをもって計画・実践できる生徒
- (6) 心身の成長の基盤である睡眠・運動・栄養を大切に考え、生活の中で実践できる生徒

○本校の研究実践は、生徒を賢くたくましく育て、生徒同士や、生徒と教職員をより強い信頼関係で結ぶために行う。※賢さ・たくましさの中身は上「目指す生徒像」を参照。

○具体的には、新学習指導要領が目指す力・力の付け方に基づいてあらゆる授業を行い、それぞれの授業や行事で、生徒が学び甲斐を感じながら学ぶように工夫する。

新学習指導要領が目指す力・力の付け方で特に重点化したいこと

- ・一定のシビアさで知識・技能を定着させ、知識・技能同士を関連付けさせるよう仕向け、思考・判断・表現に自然につなげるよう工夫する。
- ・この時、生徒個人に黙々と記述させたり、ペアや4人グループで、ねらいを明確にした協働的な学習を設定する。
- ・国語科で、級友の話の要点を聞きながらメモするスキルを付け、他教科等で活用させる。
- ・こんな授業の中で生徒の記述や発言や行動に「認めの言葉」「プラスの評価」をわかるように示すことで、生徒の自己肯定感を高めるよう努める。

○総合的な学習の時間は、探究的な学習活動を行う。

- ・活動的な単元であっても、「どんな力が身に付いたか」「前と比べてどんな自分になれたと思うか」など、振り返りを書かせ、学びを必ず言語化させる。
- ・生徒の目標設定→情報収集→選択→解釈→考えを抱く→表現→交流→それによる変容を促すような・促すためのワークシートのデザインを工夫・開発する。
- ・ワークシートの記述を学年教員で分担して点検・評価し、次の時間の助言・修正に生かす。
- ・体育館で行うポスターセッションの会に限らず、生徒がめあてと捉え達成感を抱けるよう、クラス間移動や学年フロアで行うなどの交流の場を設ける。

○道徳の授業は道徳の教科書などの、読む資料を使う授業を行い、内容項目を網羅する。

- ・自分を見つめ直す発問を行い、感想・発言を求めるようにする。
- ・一人一人のよさを認めるような評価を行う。

○授業規律の指導を怠らないだけでなく、支援の視点で全ての生徒が学びやすい、気持ちが前向きになれる働きかけをし、全員を巻き込んだ授業となるよう努める。

○部活動は、限られた時間内で、専門性の有無にかかわらず、生徒を人としてきちんと指導する。日・時間が減ったことは、衰退・中途半端とはちがう。

○自分や他の教職員を育てる視点で仕事に携わろう。

○経験年数に応じた視点の高さ・視野の範囲をもてているか振り返り、向上しよう。